

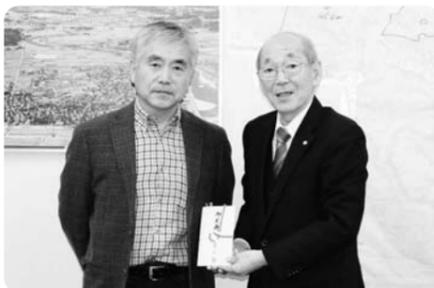
# ありがとう ございました



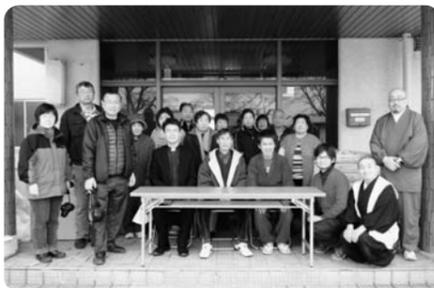
2月14日、アニメーター、キャラクターデザイナー・演出家の湖川友謙様および伸道商事様から、町に義援金をいただきました。湖川様からは、チャリティイベントを行った際の収益を義援金としていただきました。



2月14日、日本ボランティア会様から、町に義援金をいただきました（今回で5回目）。



2月27日、清水勉様（神奈川県）から、町に義援金をいただきました。



3月1日、NPO法人東北ヘルプ様から、二本松市・建設技術学院跡仮設住宅自治会に長机10脚と椅子30脚を寄贈いただきました。仮設の集会所などで有効に使わせていただきます。

## 浪江中学校 卒業証書授与式

二本松市東和文化センターで、3月13日に浪江中学校（二本松市）の卒業証書授与式が行われました。



式では卒業生を代表し、山田優くんが、「原発事故により、困難な環境の中でつらいこともありましたが、私たちは家族、友だち、先生方に支えられ、浪江中学校を卒業することができました。ありがとうございました！私たちは希望の未来へ歩み出していきます。在校生の皆さん、どこにいても浪中を応援しています！」と力強く別れの言葉を述べ、卒業生23名はそれぞれの夢に向かって学び舎をあとにしました。



## 小田部仮設婦人部 感謝状表彰

2月27日、本年度の交通事故防止活動協力団体として、小田部仮設住宅婦人部の皆さんに、本宮地区交通安全協会から感謝状が贈られました。

婦人部は昨年、夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動に合わせて、手作りのストラップを郡山北警察署本宮分庁舎に贈り、秋には郡山北警察署本宮分庁舎および本宮市交通安全母の会連合会と合同で、秋の全国交通安全運動の啓発活動を行ってきたことが評価されました。



## 安波祭 —ふるさとの伝統—

3月9日、2月の大雪のため中止になっていた安波祭が北幹線第一仮設住宅で開催されました。

仮設住宅に請戸・荻野神社の神様を招き、幾世橋初発神社の田村彌直による祝詞奏上のもと、請戸芸能保存会による神楽と田植え踊りが奉納されました。

会場には、請戸地区の方々が集まり、田植え踊りの歌に合わせてお囃子をする声も。このあと、笹谷東部仮設住宅と安達運動場仮設住宅でも神楽と田植え踊りが奉納され、ふるさとを懐かしむ多くの方々でにぎわいました。



がんばれ!  
なみえ

# まちの話題

皆さまの身の回りにある楽しい話題、いっふう変わった話題などの情報を募集しています。

問 復興推進課情報統計係  
☎ 0243(62)4731

## 浪江のこころ通信～震災後3年間の記録～ 刊行

平成23年3月11日に発生した東日本大震災と原発事故により、本町では全町民が避難を余儀なくされ、全国各地へ分散避難したままの状況です。

こうした町民の絆・思いをつなぐために、平成23年7月に“浪江のこころプロジェクト”が立ち上げられ、「浪江のこころ通信」の発行が始まりました。一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアムが中心となり、町と連携しながら全国各地のNPO、大学等の皆さんに取材のご協力をいただいています。

長期化する避難生活、先の見えない不安の中で、町民の皆さんがどのような思いで生活し、ふるさとへの思いを抱いているのか。これまでに、200件以上のインタビューを掲載してきました。

震災から3年を迎えるにあたり、その第1号から第30号（平成25年12月号掲載分）までを一冊にまとめ、3月下旬に町民の皆さんへ送付しました。被害の数字やデータだけでなく、町民の皆さんのさまざまな「想い」を後世に残すことは日本の将来にも役立つものです。ぜひご覧ください。

